

授業 科目名	スポーツ栄養学 Sports Nutrition	履修年次: 選択:栄 3・4 年	単位数: 1 単位 15 時間 コード: NTA302	担当教員名: 平岡 真実 (研究室 : A207)
〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識,Ⅳ 健康づくりの実践,Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 スポーツが身体に及ぼす影響、スポーツを行う人の栄養補給法について理解し、説明できる。 スポーツ栄養マネジメントについて理解し、説明できる。				
〔授業の概要〕 スポーツを行う人の身体組成やエネルギー消費量について、その特徴や測定方法を学習する。栄養補給法、水分補給法について、生理的メカニズムやタイミングなどの科学的根拠を学習する。競技特性に応じた食事や、栄養サポートを行う際に必要なスポーツ栄養マネジメントについても学ぶ。				
キーワード: スポーツ、栄養補給法、栄養サポート				
〔授業計画〕				
回 数	日付	テ ー マ	内 容	
第1回	11/19	スポーツ選手の身体組成	身体組成、測定方法	
第2回	11/26	運動とエネルギー消費量	総エネルギー消費量、測定方法	
第3回	12/3	運動とからだづくり	糖質、たんぱく質、アミノ酸摂取	
第4回	12/10	コンディショニングとミネラル・ビタミン摂取	貧血予防、骨づくり、エネルギー産生とビタミン、サプリメント	
第5回	12/17	運動と水分補給	飲水行動、水分補給状態評価	
第6回	1/7	競技特性と栄養補給	運動種目別の栄養管理	
第7回	1/14	スポーツ栄養マネジメント	スポーツ栄養マネジメントと栄養サポート、ジュニアアスリート	
第8回	1/21	女性アスリートの栄養問題	LED、栄養サポート他	
履修条件		特になし		
予習・復習		講義内容を配布物等と照らし合わせて確認し、重要箇所を自分のことばで説明できるようにする。		
テキスト		特になし		
参考書・参考資料等		配布資料、そのほか必要に応じ授業内で紹介する。		
学生に対する評価		試験（80%）、学習態度（20%）により評価する。		

授業 科目名	栄養教育論Ⅰ (Nutrition Education Ⅰ)	履修年次: 必修: 栄2年	単位数: 2 単位 30 時間 コード: NTE201	担当教員名: 渡辺 優奈 〔管理栄養士、栄養教諭〕 (教育棟 A214 研究室)
〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識, Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム, Ⅴ 健康づくりの環境の整備・改善				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 人々の健康・栄養状態、食行動、食環境等の関わりを理解し、それらを総合的に評価・分析し、健康やQOLの向上につながる栄養教育を計画・実践するために必要な、栄養教育の理論と技法の基礎的知識を修得する。理論と技法について説明ができる。				
〔授業の概要〕 栄養教育は、科学的な根拠をもとに、健康の保持・増進、生活の質・人生の質の向上に寄与する健康的な食行動の形勢と確立をめざすための人間教育であり、栄養学科で学ぶすべての科目の総合科目として位置づけられる。本授業は栄養教育に必要な基礎的知識や健康や生活の質 (QOL) の向上につながる主体的な実践力形成の支援に必要な理論と方法、特に 1) 栄養教育の意義と特性、2) 栄養教育に関わる理論とモデル、3) 栄養教育プログラムのアセスメント・計画・実施・評価・改善の一連をマネジメントする方法を学習する。				
キーワード: 栄養教育、行動科学理論・モデル、栄養教育マネジメント				
〔授業計画〕				
回 数	日付	テ ー マ	内 容	
第1回	10/1	栄養教育とは	オリエンテーション、栄養教育の概念と目的、対象と機会	
第2回	10/8	栄養教育マネジメント	栄養教育のマネジメントサイクル	
第3回	10/15	栄養教育のためのアセスメント	健康・食物摂取に影響を及ぼす要因のアセスメント	
第4回	10/22	栄養教育の計画・実施1	目標の設定 (優先課題の決定、栄養診断)	
第5回	10/29	食行動変容と栄養教育1	個人の行動変容に関する理論 (行動科学の理論とモデル)	
第6回	11/5	食行動変容と栄養教育2	個人の行動変容を促す手法 (行動変容技法)	
第7回	11/12	食行動変容と栄養教育3	集団や社会の行動変容に関する理論、地域・組織づくり	
第8回	11/19	栄養教育と食環境づくり	栄養教育における食環境づくり	
第9回	11/26	栄養教育の方法1	科学的根拠に基づいた栄養教育	
第10回	12/3	栄養教育の方法2	教育方法の選択と教育形態	
第11回	12/10	栄養教育の方法3	プレゼンテーション技術、教材・媒体の選択	
第12回	12/17	栄養教育の計画・実施2	全体計画、カリキュラムの作成	
第13回	1/7	栄養教育の評価	評価の枠組み、種類と内容	
第14回	1/14	栄養教育の計画・実施3	指導案の作成	
第15回	1/21	まとめ	栄養教育の理論まとめ、振り返り	
履修条件		特になし		
予習・復習		予習: テキストの熟読、復習: 授業ノートのまとめや資料の確認等、振り返りに各回 30 分程度を推奨		
テキスト		栄養科学シリーズ NEXT 栄養教育論第4版 笠原賀子、斎藤トシ子編 (講談社)		
参考書・参考資料等		必要に応じてプリント配付		
学生に対する評価		定期試験 (60%)、小テスト (30%)、授業態度 (10%) で総合的に評価する		

授業 科目名	栄養教育論Ⅱ (Nutrition Education Ⅱ)	履修年次: 必修 栄3年	単位数: 2単位 30時間	担当教員名: 渡辺 優奈 〔管理栄養士、栄養教諭〕 (教育棟 A214 研究室)
			コード: NTE202	
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識、Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム、Ⅴ 健康づくりの環境の整備・改善				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 各ライフスタイル及びライフステージの特徴を学び、ライフステージ別の栄養教育のマネジメントサイクルについて、講義・演習を通じて学ぶ。人々の健康やQOLの向上につながる栄養教育を計画・実践するために必要な栄養教育のスキルを身につけ、演習で活用できる。				
〔授業の概要〕 栄養教育論Ⅱでは、栄養教育論Ⅰで学んだことをベースに、対象者のライフステージ、ライフスタイルの特徴を学び、個人や集団に対する栄養教育のあり方の学習を通じて、臨地実習等の学外実習に向けて栄養教育の基礎力を身につけることを目的とする。職域別の外部講師等（管理栄養士）による講義を取り入れ、実務経験によりライフステージ別の栄養教育に関する講義・学習の支援を行う。				
キーワード: ライフステージ別栄養教育、栄養教育マネジメント、栄養教育プログラム				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第1回	4/10	栄養教育の対象と機会	ライフステージ別栄養教育の対象と機会	
第2回	4/17	対象者別の栄養教育プログラム	栄養教育マネジメントに基づいたプログラム立案の基本	
第3回	4/24	妊娠・授乳期の栄養教育	妊娠・授乳期の栄養教育の特徴と留意事項	
第4回	5/1	乳幼児期の栄養教育	乳幼児期の栄養教育の特徴と留意事項	
第5回	5/8	食物アレルギーの栄養教育	食物アレルギー児や保護者への栄養教育の特徴と留意事項	
第6回	5/15	学童・思春期の栄養教育	学童期、思春期の栄養教育の特徴と留意事項	
第7回	5/22	成人期の栄養教育1	成人期の栄養教育の特徴と留意事項	
第8回	5/29	成人期の栄養教育2	生活習慣病予防・重症化予防のための栄養教育（特定健診・特定保健指導）	
第9回	6/5	高齢期の栄養教育	高齢期の栄養教育の特徴と留意事項	
第10回	6/12	学校における栄養教育の実践	小学校における栄養教育の実践（特別講義講師）	
第11回	6/19	障がい者他の栄養教育	障がい者他の栄養教育の特徴と留意事項	
第12回	6/26	青年期及びアスリートへの栄養教育	青年期及びアスリート（スポーツ実施者）の栄養教育の特徴と実践、留意事項（特別講義講師）	
第13回	7/3	栄養教育手法の具体1	3・1・2弁当箱法の理解と活用	
第14回	7/10	栄養教育手法の具体2	3・1・2弁当箱法の理解と活用	
第15回	7/17	まとめ	ライフステージ別栄養教育のまとめ	
履修条件		「栄養教育論Ⅰ」の単位を修得済みであることが望ましい		
予習・復習		予習:「栄養教育論Ⅰ」で学んだ授業ノート・小テスト等の振り返り、復習:授業ノートのまとめや資料の確認等、振り返りに各回30分程度を推奨		
テキスト		栄養科学シリーズNEXT 栄養教育論第4版 笠原賀子、斎藤トシ子編（講談社）		
参考書・参考資料等		必要に応じてプリント配付		
学生に対する評価		定期試験（60%）、課題（30%）、学習態度（10%）で総合的に評価する		

授業 科目名	栄養教育論実習 (Practice in Nutrition Education)	履修年次: 必修 栄3年	単位数: 1 単位 45 時間 コード: NTE301	担当教員名: 渡辺 優奈 〔管理栄養士、栄養教諭〕 (教育棟 A214 研究室)
〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識, Ⅱ コミュニケーション能力, Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 栄養教育科目で修得した基礎をもとに、具体的に設定した学習者の条件に対応した栄養教育の立案、実施、評価の在り方を実習の中で修得する。小集団への栄養教育を学内で実践できる。				
〔授業の概要〕 栄養教育論実習では、ライフステージ、ライフスタイルに応じた栄養教育の実際を学ぶため、ロールプレイなどを取り入れながら、対象者の健康・食生活に関する情報収集と優先課題の特定（アセスメント）、目標設定、学習計画の立案、実施、評価及び改善までの一連の過程をマネジメントする方法を体験し、臨地実習などの学外実習で活用できるスキルを習得する。				
キーワード: 栄養教育マネジメント、小集団教育、ロールプレイ				
〔授業計画〕				
回 数	日付	テ ー マ	内 容	
第1回	4/14	オリエンテーション	栄養教育論実習の目的、進め方の確認。これまでの学習の振り返り、ライフステージの選択	
第2回	4/21	小集団への栄養教育の計画1	アセスメント1	
第3回	4/28	小集団への栄養教育の計画2	アセスメント2	
第4回	5/12	小集団への栄養教育の計画3	計画書の作成（目的・目標の明確化、評価項目などの設定）	
第5回	5/19	小集団への栄養教育の計画4	計画書の作成（学習の場、指導案などの作成）	
第6回	5/26	小集団への栄養教育の計画5	教材の作成	
第7回	6/2	小集団への栄養教育の計画6	教材の作成、リハーサル	
第8回	6/9	小集団への栄養教育の実施1	第1 案のロールプレイ・フィードバック	
第9回	6/16	小集団への栄養教育の実施1	第1 案のロールプレイ・フィードバック	
第10回	6/23	小集団への栄養教育の見直し	指導案の修正・全体計画の見直し	
第11回	6/30	小集団への栄養教育の評価	指導案の修正・全体計画の見直し、評価	
第12回	7/7	小集団への栄養教育の実施2	第2 案のロールプレイ	
第13回	7/14	小集団への栄養教育の実施2	第2 案のロールプレイ	
第14回	7/23	小集団への栄養教育まとめ	発表準備・リハーサル	
第15回	7/28	小集団への栄養教育まとめ	グループ発表・振り返り・レポート	
履修条件		「栄養教育論Ⅰ」を修得済みであり、「栄養教育論Ⅱ」を修得見込みであることが望ましい		
予習・復習		予習：特になし、復習：ロールプレイの準備、実習ノートのまとめ、振り返りを推奨		
テキスト		栄養科学シリーズNEXT 栄養教育論第4版 笠原賀子、斎藤トシ子編（講談社）		
参考書・参考資料等		ワークシートおよび必要に応じてプリントを配付		
学生に対する評価		発表・提出物（80%）、学習態度（20%）で総合的に評価する		

授業 科目名	栄養教育手法論 (Techniques for nutrition education)	履修年次: 必修 栄3年	単位数: 2単位 30時間	担当教員名: 渡辺 優奈 〔管理栄養士、栄養教諭〕 (教育棟 A214 研究室)
			コード: NTE302	
〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識, Ⅱ コミュニケーション能力, Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 栄養教育や栄養カウンセリングの実践にむけての基本的事項を学び、個人への展開、コミュニケーションスキルを習得する。学んだスキルをカウンセリング演習で活用できる。				
〔授業の概要〕 栄養教育論を科学的根拠に基づき、対象者に応じて実施するための手法を学ぶ科目である。そこで、対象者の食行動を変容するコミュニケーション技術として、カウンセリングの基本と栄養教育への応用を学び、ロールプレイなどの体験学習を通じて具体的な技法を理解し、実践力を習得する。				
キーワード: 行動変容技法、栄養カウンセリング、ロールプレイ				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第1回	4/10	栄養カウンセリングとは	栄養カウンセリングの基本と栄養教育への応用 (目的・目標、カウンセリングマインド、カウンセラーの資質など)	
第2回	4/17	栄養カウンセリングの技法1	カウンセリングの基礎技術 (傾聴、受容、共感的理解など)	
第3回	4/24	栄養カウンセリングの技法2	カウンセリングの基礎技術 (質問・提案の注意点など)	
第4回	5/1	個別カウンセリング1	カウンセリングの実践 (事前準備)	
第5回	5/8	個別カウンセリング2	カウンセリングの実践 (ロールプレイ)	
第6回	5/15	個別カウンセリング3	逐語録作成・ワークシートのまとめ	
第7回	5/22	個別カウンセリング4	振り返り・自己スキル評価	
第8回	5/29	動機づけ支援、コーチング	動機づけ支援の基本ステップ (ゴール設定など)	
第9回	6/5	認知行動療法	認知行動療法の基本、栄養カウンセリングへの応用	
第10回	6/12	問題解決カウンセリング	食行動の改善に向けた行動技法の適用	
第11回	6/19	栄養カウンセリングの進め方	栄養カウンセリングにおける課題の抽出とカウンセリング技法や行動変容技法の使い方	
第12回	6/26	栄養カウンセリング1	栄養カウンセリングの実践・観察学習	
第13回	7/3	栄養カウンセリング2	栄養カウンセリングの実践・他者スキル評価	
第14回	7/10	栄養カウンセリング3	栄養カウンセリングの実践・支援内容の分析と振り返り	
第15回	7/17	振り返り・まとめ	栄養カウンセリング手法の総合評価・改善案	
履修条件		「栄養教育論Ⅰ」の単位を修得済みであることが望ましい		
予習・復習		予習:「栄養教育論Ⅰ」で学んだ行動変容技法の振り返り、復習:授業ノートのまとめや資料の確認等、振り返りに各回 30 分程度を推奨		
テキスト		栄養科学シリーズNEXT 栄養教育論第4版 笠原賀子、斎藤トシ子編 (講談社)		
参考書・参考資料等		必要に応じてプリント配付		
学生に対する評価		演習・課題 (50%)、レポート (30%)、学習態度 (20%) で総合的に評価する		

授業 科目名	臨床栄養学Ⅰ (Clinical NutritionⅠ)	履修年次:	単位数:	担当教員名: 科目責任者 谷内洋子 (研究室:教育棟A213) [管理栄養士]
		必修:栄2年	2単位 30時間 コード:NTC201	
		実務経験のある教員による授業科目		

〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識、Ⅳ 健康づくりの実践、Ⅴ 健康づくりの環境の整備・改善				
--	--	--	--	--

〔授業の到達目標及びテーマ〕				
1. 傷病者の栄養ケアプランを行うための基礎知識を習得する。				
2. NST, 診療報酬制度を学習する。				
3. 食品と薬との相互作用について学習する。				

〔授業の概要〕				
1. 栄養ケアプランに必要な基礎知識について、学習する。				
2. 疾病別に関連学会で示した、栄養療法（静脈栄養、経腸栄養、経口栄養）を基礎に、傷病者の栄養ケアプランの理論を学習する。				
実務経験を有する教員により、臨床栄養領域における管理栄養士の基礎的知識および業務内容を学ぶ支援をする。				

キーワード: 管理栄養士、医療保険制度、栄養ケアプラン、栄養補給法、生活習慣病				
---	--	--	--	--

〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第1回	4/11	臨床栄養の概念	臨床栄養の意義と目的について学ぶ。	
第2回	4/18	栄養スクリーニング	栄養状態良否のスクリーニング方法と意義、臨床検査成績の意味するものを学ぶ。	
第3回	4/25	栄養アセスメントと栄養必要量	総合的な栄養アセスメントと栄養必要量の算出について学ぶ。	
第4回	5/2	臨床検査と食事調査	栄養状態・病態の評価指標と食事調査の実際について学ぶ。	
第5回	5/9	経腸栄養法についての理解	経腸栄養法の手技、栄養剤の種類と選択、感染予防について学ぶ。	
第6回	5/16	静脈栄養法についての理解	静脈栄養法の手技、栄養剤の種類と選択、感染予防について学ぶ。	
第7回	5/23	食物と薬の相互作用	疾患の栄養計画に不可欠な食物と薬との相互作用を学ぶ。	
第8回	5/30	医療制度と栄養管理	臨床現場の管理栄養士の役割と法的根拠を学ぶ。	
第9回	6/6	肥満・肥満症の栄養療法	肥満・肥満症の栄養療法を学習する。	
第10回	6/13	脂質異常症の栄養管理	脂質異常症の患者の標準的な栄養ケアプランを学ぶ。	
第11回	6/20	糖尿病の栄養管理	糖尿病の患者の標準的な栄養ケアプランを学ぶ。	
第12回	6/27	糖尿病・内分泌疾患の栄養管理	糖尿病・内分泌疾患の患者の標準的な栄養ケアプランを学ぶ。	
第13回	7/4	内分泌疾患の栄養管理	内分泌疾患の患者の標準的な栄養ケアプランを学ぶ。	
第14回	7/11	循環器疾患の栄養管理	循環器疾患の患者の標準的な栄養ケアプランを学ぶ。	
第15回	7/18	まとめ	第1～14回のまとめ	

履修条件	特になし
予習・復習	予習としてテキストを熟読のこと。復習にはテキストおよび配付資料の見直しを推奨。
テキスト	佐々木雅也、田中雅彰 他編:臨床栄養学 第10版 医歯薬出版 2024 下田妙子編:臨床栄養学-栄養ケアとアセスメント編 第3版 化学同人 2012
参考書・参考資料等	学会が示している治療のためのガイドライン（必要に応じ配付する）
学生に対する評価	学習態度(30%)、試験（授業内テスト含む;70%）によって総合的に評価する。

授業 科目名	臨床栄養学Ⅱ (Clinical Nutrition Ⅱ)	履修年次:	単位数:	担当教員名: 科目責任者 谷内洋子 (研究室: 教育棟 A213) [管理栄養士]
		必修: 栄2年	2単位 30時間 コード: NTC202	
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識、Ⅳ 健康づくりの実践、Ⅴ 健康づくりの環境の整備・改善				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
1. 傷病者の栄養ケアプランを行うための病態・症状への理解を深める。 2. 1を通して、病人の理解・患者への接し方と医の倫理を学習する。 3. 栄養介入効果の評価方法を習得する。				
〔授業の概要〕				
1. 疾病別に関連学会で示した、栄養療法を基礎に、傷病者の栄養ケアプランの理論を習得する。 2. 患者の治療計画・介入にどのような医療職種がかかわっているかを理解し、患者が望む治療や生き方の理解を学習する。 実務経験を有する教員により、疾患に関する栄養ケアプランの理論について学び、ケアプラン立案・検討の支援をする。				
キーワード: 病態別栄養管理、チーム医療、栄養食事療法、栄養ケアプラン				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第1回	10/1	循環器疾患の栄養療法	高血圧・心疾患の病態と標準的な治療法を理解する。	
第2回	10/8	膝疾患の栄養療法	膝疾患患者の標準的な栄養ケアプランを学ぶ。	
第3回	10/15	肝疾患の栄養療法	肝疾患患者の栄養ケアプランを学ぶ。	
第4回	10/22	呼吸器疾患栄養療法の意義	呼吸器疾患患者の栄養ケアプランを学ぶ。	
第5回	10/29	腎疾患の栄養療法	腎疾患患者の病態と標準的な治療法を理解する。	
第6回	11/5	腎疾患の栄養療法	腎疾患患者の栄養ケアプランを学ぶ。	
第7回	11/12	胃・十二指腸疾患の栄養療法	胃・十二指腸疾患の栄養ケアプランを学ぶ。	
第8回	11/19	臨床現場の栄養管理	臨床現場での栄養管理の実践について理解する。	
第9回	11/26	クローン病の栄養療法	クローン病の栄養ケアプランを学ぶ。	
第10回	12/3	潰瘍性大腸炎の栄養療法	潰瘍性大腸炎の栄養ケアプランを学ぶ。	
第11回	12/10	血液疾患の栄養療法	血液疾患患者の栄養ケアプランを学ぶ。	
第12回	12/17	食物アレルギーの栄養療法	食物アレルギー疾患患者の栄養療法を学ぶ。	
第13回	1/7	外科の栄養療法	外傷・熱傷の患者の標準的な栄養ケアプランを学ぶ。	
第14回	1/14	先天性代謝異常症の栄養管理	先天性代謝異常患者の栄養ケアプランを学ぶ。	
第15回	1/21	まとめ	第1～14回のまとめ	
履修条件		臨床栄養学Ⅰが履修済みであること。		
予習・復習		予習としてテキストを熟読のこと。復習にはテキストおよび配付資料の見直しを推奨。		
テキスト		佐々木雅也 他編: 臨床栄養学 第10版 医歯薬出版 2024 下田妙子編: 臨床栄養学-栄養ケアとアセスメント編 第3版 化学同人 2012		
参考書・参考資料等		学会が示している治療のためのガイドライン (必要に応じ配付する)		
学生に対する評価		学習態度(30%)、試験 (授業内テスト含む; 70%)によって総合的に評価する。		

授業 科目名	臨床栄養学実習 (Practical training for Clinical Nutrition)	履修年次: 必修：栄2年	単位数: 1単位 45時間 コード: NTC301	担当教員名: 科目責任者 谷内洋子 (研究室：教育棟A213) [管理栄養士]
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識、Ⅳ 健康づくりの実践、Ⅴ 健康づくりの環境の整備・改善				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
1. 傷病者の栄養ケアプランを行うための病態・症状への理解を深める。 2. 疾病別の栄養計画に基づいた食事計画・実習・評価を通して、傷病者の食事計画ができるようになる。 3. 栄養食事療法と献立への展開について学習し、傷病者の QOL 向上につながる治療食を検討する。				
〔授業の概要〕				
提示された疾病の症例の栄養食事指導計画、指示栄養素量、患者の属性、予算にあった食事を立案し、自分たちでたてた献立に従い調理を行う。出来上がった食事について、疾病、患者の特性に適切であったか、栄養食事指導効果も視野に、自己評価したうえで意見交換を行う。 実務経験を有する教員により、実臨床における栄養食事療法の役割を学ぶ支援をする。				
キーワード：病態別栄養管理、栄養管理計画、栄養食事療法、チーム医療				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第1回	10/3	オリエンテーション、糖尿病食の食事計画	糖尿病食品交換表について、しくみと使い方を学ぶ。	
第2回	10/10	糖尿病食の食事計画・発表	糖尿病患者の栄養管理計画を立案し、プレゼンテーションする。	
第3回	10/17	流動食・軟食の実習	流動食・軟食（全粥、5分粥）を作成し、その食事の評価をする。	
第4回	10/31	高血圧食の食事計画	高血圧患者の栄養管理計画を立案する。	
第5回	11/7	高血圧の食事計画発表	高血圧栄養管理計画のポイントをプレゼンテーションする。	
第6回	11/14	糖尿病食の実習	立案献立に従い調理し、その食事について評価する。	
第7, 8回	11/21	COPD 食の食事計画 高齢者低栄養について	COPD 患者の栄養管理計画を立案する。 高齢者の栄養障害について概説、検討する。	
第9回	11/28	高血圧食の実習	立案献立に従い調理を行い、その食事について評価を行う。	
第10回	12/5	特殊治療用食品の使い方 高齢者低栄養症例・重量テスト	特殊治療用食品に特徴とその扱い方について学ぶ。 高齢者の栄養障害について学び、症例検討を行う。	
第11回	12/12	COPD 食の食事計画発表	COPD 栄養管理計画のポイントをプレゼンテーションする。	
第12回	12/19	腎疾患食の食事計画	腎疾患患者の栄養管理計画を立案する。	
第13回	1/9	COPD 食の実習	立案献立に従い調理を行い、その食事について評価を行う。	
第14回	1/23	腎疾患食の食事計画発表	腎疾患栄養管理計画のポイントをプレゼンテーションする。	
第15回	1/30	腎疾患食の実習・重量テスト	立案献立に従い調理を行い、その食事について評価を行う。	
履修条件		臨床栄養学Ⅰの単位を修得済みであり、臨床栄養学Ⅱの単位は修得見込みであること。		
予習・復習		予習としてテキストを熟読のこと。復習にはテキストや配付資料の見直しを推奨。		
テキスト		本田佳子編：栄養食事療法の実習―栄養ケアマネジメント第14版 医歯薬出版 2023 日本糖尿病学会編：糖尿病食事療法のため食品交換表第7版 文光堂 2013		
参考書・参考資料等		香川芳子編：五訂増補 調理のベーシックデータ 女子栄養大学出版部 2007 黒川清、中尾俊之他編：腎臓病食品交換表 第9版 医歯薬出版 2016		
学生に対する評価		学習態度(20%)、レポート(50%)、プレゼンテーション(30%)で総合的に評価する。		

授業 科目名	栄養ケアマネジメント論 (Theory of Nutrition Care Management)	履修年次:	単位数:	担当教員名: 科目責任者 谷内洋子 (研究室: 教育棟 A213) [管理栄養士]
		必修: 栄 3 年	2 単位 30 時間	
		コード: NTC302		
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕 III 実践に必要な知識、IV 健康づくりの実践、V 健康づくりの環境の整備・改善				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
1. 傷病者・障害者の栄養ケアマネジメントの必要な基礎知識・技術を習得する。 2. 栄養評価 (SGA,ODA,食事調査) に基づいた栄養ケアプラン (静脈栄養、経腸栄養、経口栄養、薬物) を作成し、栄養介入とその効果を評価する力を養う。				
〔授業の概要〕				
栄養ケアマネジメントに必要な基礎知識・技術の基礎的な講義を行い、それらの知識・技術を生かし、個々人に最適な栄養ケアの遂行能力の育成および実際の栄養ケアマネジメントに即した学習を行う。 実務経験のある教員により、栄養専門職として多職種との連携と栄養ケアプラン立案の検討を支援する。				
キーワード: 栄養スクリーニング、栄養アセスメント、栄養ケアプラン、フィジカルアセスメント				
〔授業計画〕				
回 数	日付	テ ー マ	内 容	
第 1 回	4/15	診療録の記録と栄養ケアプラン	ケアプランの作成と栄養管理の流れについて学ぶ。	
第 2 回	4/22	褥瘡の栄養ケアプラン	褥瘡患者の栄養管理と栄養ケアプランの基本を学ぶ。	
第 3 回	5/13	診療報酬・介護報酬	診療報酬・介護報酬における栄養関連のポイントについて学ぶ。	
第 4 回	5/20	嚥下調整食と学会分類コード	嚥下調整食の段階や「学会分類 2021」について学ぶ。	
第 5 回	5/27	小児疾患の栄養ケアプラン	小児疾患の栄養管理と栄養ケアプランの基本を学ぶ。	
第 6 回	6/3	肝疾患の栄養ケアプラン	症例を基に肝疾患患者の栄養ケアプランを作成する。	
第 7 回	6/10	妊産婦・授乳婦疾患の栄養ケアプラン	妊産婦・授乳婦疾患の栄養管理と栄養ケアプランの基本を学ぶ。	
第 8 回	6/17	糖尿病の治療について	食事療法、薬物療法、シックデイについて学ぶ。	
第 9 回	6/24	がん患者の栄養管理	がん患者の栄養管理と栄養ケアプランの基本を学ぶ。	
第 1 0 回	7/1	慢性腎臓病の栄養ケアプラン	症例を基に慢性腎臓病患者の栄養ケアプランを作成する。	
第 1 1 回	7/8	慢性腎臓病の栄養ケアプラン	症例を基に慢性腎臓病患者の栄養ケアプランを作成する。	
第 1 2 回	7/15	病棟専従管理栄養士の取り組み	病棟専従管理栄養士の業務の実践について学ぶ。	
第 1 3 回	7/22	妊娠糖尿病・小児肥満の栄養のケアプラン	症例を基に妊娠糖尿病・小児肥満の栄養ケアプランを作成する。	
第 1 4 回	7/24	疾患診断基準・診療ガイドライン、 病院における献立計画	各疾患の最新の診断基準および診療ガイドラインについて学ぶ。 医療機関における献立立案の実践について学ぶ。	
第 1 5 回	7/29	まとめ	第 1～14 回のまとめ	
履修条件		臨床栄養学Ⅱおよび臨床栄養学実習の単位を修得済みであること。		
予習・復習		予習としてテキストを熟読のこと。復習にはテキストや配付資料の見直しを推奨。		
テキスト		佐々木雅也、田中雅彰 他編: 臨床栄養学 第 10 版 医歯薬出版 2024 下田妙子編: 臨床栄養学-栄養ケアとアセスメント編 第 3 版 化学同人 2012		
参考書・参考資料等		学会が示している治療のためのガイドライン (必要に応じ配付する)		
学生に対する評価		学習態度(30%)、レポート(40%)、プレゼンテーション (30%) で総合的に評価する。		

授業 科目名	栄養ケアマネジメント論実習 (Practical training for Theory of Nutrition Care Management)	履修年次: 必修: 栄3年	単位数: 1単位 45時間 コード: NTC303	担当教員名: 科目責任者 谷内洋子 (研究室: 教育棟A213) [管理栄養士]
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕ⅠⅣ健康づくりの実践、Ⅴ健康づくりの環境の整備・改善、Ⅵ多職種との協働				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
1. 栄養ケアマネジメントに必要な知識と技術を習得する。 2. 傷病者を対象にした栄養食事指導、地域連携パスを踏まえた栄養ケアプランの作成ができるようになる、さらに地域の健康増進に貢献する力を身につける。				
〔授業の概要〕				
栄養ケアマネジメントに必要な基礎的な技術について、実習を通して修得する。2年次、3年次学習した傷病者の栄養療法、ケアに関する知識や技術を総合して、地域連携パスを踏まえた栄養食事指導計画を作成し、その模擬実習を行う。 実務経験を有する教員により、傷病者のQOL向上を見据えた栄養食事指導計画の立案を学ぶ支援をする。				
キーワード: 栄養ケアマネジメント、栄養アセスメント、栄養ケアプラン、フィジカルアセスメント				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第1回	4/15	オリエンテーション, 職業倫理 POS,SOAP による栄養ケアプラン	専門職としての職業倫理およびクリニカルパス、栄養ケアプラン、診療録について学ぶ。	
第2回	4/22	栄養ケアプロセス / 栄養診断	栄養ケアプロセスの構成とその手法について学ぶ。	
第3回	5/13	褥瘡患者の栄養ケアプラン	褥瘡予防、ケアについての知識・技術を学び、栄養ケアプランを作成する。	
第4回	5/20	糖尿病の栄養食事指導 計画	糖尿病患者の栄養食事計画を作成する。	
第5回	5/27	嚥下食の食事計画	嚥下ピラミッドの理解、嚥下評価に基づいた献立計画を立案する。	
第6回	6/3	糖尿病の栄養食事指導 計画	糖尿病患者の栄養食事計画を作成する。	
第7回	6/10	嚥下食の実習	嚥下調整食の調理実習を行う。	
第8回	6/17	糖尿病の栄養食事指導 実習	糖尿病患者の栄養食事指導のプレゼンテーションをする。	
第9回	6/24	肝臓病の栄養食事指導 計画	肝臓病患者の栄養食事計画を作成する。	
第10回	7/1	肝臓病の栄養食事指導 実習	肝臓病患者の栄養食事指導のプレゼンテーションをする。	
第11回	7/8	腎疾患の栄養食事指導 計画	腎疾患患者の栄養食事計画を作成する。	
第12回	7/15	腎疾患の栄養食事指導 実習	腎疾患患者の栄養食事指導のプレゼンテーションをする。	
第13回	7/22	腎疾患の栄養食事指導 実習	腎疾患患者の栄養食事指導のプレゼンテーションをする。	
第14回	7/24	妊娠糖尿病等の栄養食事指導 計画	妊娠糖尿病・小児肥満の栄養食事計画を作成する。	
第15回	7/29	妊娠糖尿病等の栄養食事指導 実習	妊娠糖尿病等の栄養食事指導のプレゼンテーションをする。	
履修条件		臨床栄養学実習の単位を修得済みであること。		
予習・復習		予習として参考書・参考資料を熟読のこと。復習には配付資料の見直しを推奨。		
テキスト		特になし		
参考書・参考資料等		佐々木雅也、田中雅彰 他編: 臨床栄養学 第10版 医歯薬出版 2024 下田妙子編: 臨床栄養学-栄養ケアとアセスメント編 第3版 化学同人 2012		
学生に対する評価		学習態度(30%)、レポート(40%)、プレゼンテーションの取り組み(30%)で総合的に評価する。		